

知って得する洗濯術

【今、モンゴル産のカシミアが注目されています】

冬物の衣類を購入する際に「カシミア 100%」と表示されていると、つい触れてみたくなりますね。肌にやさしくしっとりとしていて上品な光沢感があり、しかも軽くて暖かい。カシミアはまさに「繊維の宝石」です。それもそのはず、カシミアは山岳地帯に生息するカシミアヤギの首元の産毛のみを使用した繊維で、1頭から約 200 グラム程度しかとれません。そのため、セーターを1着作るには数頭分のカシミアヤギの産毛が必要になります。カシミアのセーター1着の価格が何万円もするのはうなずけますね。

しかし、平成18年ごろからこの「カシミア 100%」のセーターが、インターネットを中心に1着数千円という安値で販売されるようになりました。そこで平成20年に公正取引委員会により、安価なカシミア製品の調査が行われました。すると、「カシミア 100%」と表示されていても実際には20%未満、ひどいものでは数%しかカシミアが入っていないものが見つかりました。これらの安価な製品にはカシミアの代わりに羊やヤク、死んだカシミアヤギの産毛が混入していたそうです。偽装の手口は巧妙で、繊維を引っ張ったり薬品を使用したりして繊維表面の形状や手触り感がよく見えるように装っています。



現在、これらの偽装カシミアの流通量は本物に比べて約4倍ともいわれています。加工の際に毒性の強い有害物質が使われるとの報告もあり、偽装したカシミア製品を家庭で洗うと簡単に穴があいてしまいます。また、死がいの毛は虫に食われやすいので、極端に安価なカシミア製品には手を出さない方がよさそうです。そこで今、注目を集めているのが「モンゴル産」のカシミアです。流通経路がシンプルのため他の獣毛繊維が混入する確率が低いといわれていて、日本国内の商社や百貨店も「モンゴル産」のカシミア製品を販売する傾向が強いです。カシミア製品は、産地や流通経路などにも気を付けて慎重に購入することをお勧めします。

